

食にかかわる専門家を支える

NPO法人 食生態学実践フォーラム



〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-2 尾上ビル 404
TEL: 03-5925-3780 FAX: 03-5925-3852

2007.6.22 Vol.13

E-mail: forumehf@zak.att.ne.jp
http://home.att.ne.jp/omega/syokuseitai/

■第4回総会

2007.5.26

東京女子医科大学(東京都新宿区)

委任状を含め 45 名の出席のもと、5月 26 日(土)、東京女子医科大学において開催されました。理事長より、フォーラムの活動も4年を経過し、会員数も安定、小規模ながら全国的な広がりを持つようになってきたこと。本年度からは、これまで実践中心であった活動に加え、研究部門も充実させ、会員の活躍の場を広げたいと、組織整備を行い活動していきたい旨のあいさつがありました。

議案は 2006 年度事業報告・決算報告の他、新組織体制に基づいた 2007 年度事業計画・予算、新役員の審議と承認がされました。なお、新役員は以下の方々です(敬称略)。

【理事(14名)】

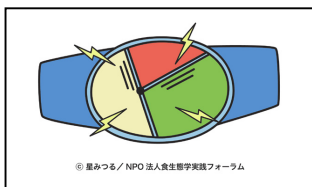
足立己幸(理事長)、針谷順子(副理事長)、薄金孝子、小川正時、尾岸恵三子、越智直実、武見ゆかり、平岩扶巳代、平本福子、藤原真昭、二見大介、松下佳代、森嶋道子、吉岡有紀子

【監事(2名)】

榎沢禮子、細井壮一

さらなる充実した活動にむけて、食育プロモーターズをはじめ会員の活動への積極的な参加が呼びかけられた総会となりました。

(運営委員:高橋千恵子)



メジャコンの
オペルト

■東京研修会

ケア・マネジメントの開発と活用

「栄養」と「食行動・食環境」の双方向から

2007.5.26

東京女子医科大学(東京都新宿区)

5月 26 日の総会のあと、ケア・マネジメントの開発と活用～「栄養」と「食行動・食環境」の双方向から～をテーマに研修会を行いました。

講演 1 は、杉山みち子・神奈川県立保健福祉大学教授が、介護保険制度に栄養ケア・マネジメントが導入された経緯と、介護予防(一般高齢者施策・特定高齢者施策)・新予防給付の「栄養改善」施策の概要と、管理栄養士の役割「介護保険制度と栄養ケア・マネジメント」について講演しました。

講演 2 は、足立己幸理事長が、「栄養」と「食行動・食環境」の双方から、食ケア・アセスメントの開発と提案をM食アセスメント票(仮称)の構築を事例に、「M食アセスメント(仮称)おいしい食卓のアイデアさがし(フェースシート)・施設で暮らす人」を紹介されました。ベースにした理論でたたき台をつくり、実践を繰り返しつつできた過程を丁寧に話されました。

参加者から、

在宅要介護者に栄養ケア・マネジメントを使ってみたが、実際の生活と離れているので使いにくかった。

M食アセスメントのようなものがほしい。

できないところを見つけるのでなく、何ができるかを見つけるアセスメントが必要なことに気づかされた。



介護者が主体のアセスメント(プランニング)でなく、高齢者が主体となるアセスメント(プランニング)が大事。

等の意見が出ました。

(理事:薄金孝子)

●食育セミナーのお知らせ

ハート♡を食事でプレゼント!

日時:8/3(金)～8/5(日)2泊3日

会場:みなみかぜ地域交流センター

(埼玉県川越市)

学習者:小学校3年生～中学生 25名

参加費:会員のお子様 20,000円

非会員のお子様 25,000円

* 詳細については、同封の別紙チラシをご覧ください。

●食育プロモーターズのお知らせ

日時:8/3(金)～8/5(日)の3日間

10:00～17:00

(宿泊ではありません)

会場:みなみかぜ地域交流センター

(埼玉県川越市)

学習者:食生態学実践フォーラム会員で、

3日間連続して参加できる者 5名

参加費:30,000円(昼食費込み)

* 詳細については、同封の別紙チラシをご覧ください。

食生態学連続講座のお知らせ

講師:針谷順子

日時:12/1、12/2、12/15、12/16の

連続4回

12/1のみ、13:00～16:30

それ以外は、10:00～16:00

会場:みなみかぜ地域交流センター

学習者:4回連続して参加できる人 40名

参加費:会員 18,000円

非会員 25,000円

* 詳細については、同封の別紙チラシをご覧ください。